

村長の日記

6月1日（金）

10:00

河南町訪問

金剛トンネルへの協力を要請に町長へ。現在「大楠公」、大阪南高速道路期成会を作り、太子インターから葛城山、金剛山、岩湧山の山麓を通り、岸和田インター付近までの高速道路を作りたいとの要望を、南河内、泉州、和歌山、奈良県の市町村で行っている。

大楠公を要請している上に重い話との懸念もあるが、府道富田林五條線トンネルは昭和43年からの村の思いのこもった路線だ。ぜひ、このトンネルを実現したいと要請して、協力を取り付けた。

15:00

富田林市訪問

市長に府道富田林五條線トンネル協力要請。既に奈良県側は金剛山麓まで完成している、富田林としてもいい話だ、ぜひ実現させたい。と協力を了承してくれた。

府道富田林五條線は、現在行き止まりになっている唯一の府道。トンネルで五條市とつなげることで、河内、大和、紀州が1本の線につながる。この路線の必要性は千早赤阪村だけの話ではない。数年後完成する国道168号線高規格化に伴い、紀伊半島縦断道路と京奈和道とがクロスする。村は大阪南西の“へた”から、紀州、大和、河内の中心になれる。

6月5日（火）

今年はかなり涼しい5月だったが、6月に入り少しずつ夏らしくなってきた。懸案であった庁舎、こども園も具体化してきた。スピードを持ってあたろう。

今日から6月議会が始まる。議員諸氏の協力をいただいて、村づくりのスタートだ。

6月議会冒頭挨拶

6月に入り、役所へ来る途中の田圃はすべて田植えが終わり、あとは成長を待つだけとなりました。

私は5月の8日から10日間、福祉の先進国「ゆりかごから墓場まで」で有名な北欧3国、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを全国町村会海外地方行政調査団の副団長として訪問してきた。

村長の日記

学校は大学院まで無料、医療費は無料、大学からは800ドル相当の手当てが出る。単純に考えても莫大な費用が必要です。

消費税は内税で25%、国民の税負担は平均50%、消費税率の2%アップが実行できない我が国とはえらい違いです。

国民的合意により、高福祉、高負担を実行している北欧3国と我が国の違いが理解できるまでには、まだまだ国の成り立ち、歴史的背景、民族性、他 学習すべき事柄が多数あります。

今村では、庁内郵便局の10月開局、庁舎新設では遺跡調査が第1段階終了、こども園新設問題では保護者説明会第1回が終了、着実に進捗中です。議員皆さんの協力をいただきながら、早急を実現してゆきます。

皆さんの協力により、この6月議会を実りあるものにしたと思います。皆さんの協力をお願いし冒頭の挨拶といたします。

会議録署名議員 田村議員、千福議員を指名。

会期、6月5日～6月21日、17日間を決定。

報告1号 一般会計繰り越し明細計算書

収入の部：未収入特定財源1億830万円(一般財源4220万円、国庫補助金、地方債その他)

支出の部：1億5050万円を繰り越す。

災害復旧で地元調整に不測の時間を要したこと、庁舎建設で周辺土地所有者との調整に時間を要し、用地測量経費が30年度に繰り越したことなど。「全員了承」

報告2号 一般会計自己繰り越し

収入の部：一般財源、110万円の繰越。

支出の部：110万円(普通建設事業費)の繰越。

災害復旧工事で地元調整に時間を要した。

報告3号 金剛山観光事業特別会計 予算自己繰り越し。

収入：一般財源140万円を繰り越し。

支出：140万円、普通建設事業費を繰り越し。

ロープウェイ搬器ラッピング、自然公園内であることから必要なデザインに協議時間がかかった。

村長の日記

以上報告は本会議で了承された。

議案第30号 千早赤坂村事務分掌条例の一部を改正する

災害復旧工事を加速させ効率的に遂行するため、災害復旧室を設置した。

議案第31号 職員の分限に関する手続および効果に関する条例の一部を改正する。

休職者の復職の可否については主治医診断のみに依存していたが、復職審査会を設置、産業医や所属での職務状況など、あらゆる方面から復職の可否を審査する場を設置する。

議案第32号 職員の旅費に関する条例の一部を改正する。

移転料及び扶養移転料を追加、移転に伴う住所または居所の移転費用、赴任に伴う扶養親族の移転費用を支給する。

議案第33号 村税条例の一部改正

平成30年3月31日に地方税法の一部が改正された、それに基づいて本村税条例の一部を改正した。

議案第34号 訴えの提起、承認を求める。

旧富田林高等学校千早赤坂分校跡地と隣接する土地との境界確定を行うために訴えを行うもの。

平成21年3月 被告らに境界画定の同意を求めたが同意を得られなかった。

平成26年9月1日に被告らを相手方として富田林簡易裁判所に対し境界画定調停を申し立てたが、11月26日不成立となった。

本件土地との筆界特定を大阪法務局に申し立てたところ、平成28年7月22日に筆界特定がなされた。村は筆界特定がなされた特定線を境界とするための訴えを提起する。

議案第35号 千早赤坂村議会委員会条例改正。「議会提案」

災害復旧室が新設されたので、同室は文教建設常任委員会の所管とする。

議案30号から35号までの6議案は本会議で全員賛成で可決。休憩の後36号議案から41号議案までは総務民政常任委員会に付託、42号議案から46号議案49号議案は総務民政常任委員会に付託、42号議案47号議案は文教建設常任委員会付託、48号議案は総務民政常任委員会、文教建設常任委員会付託となった。

村長の日記

6月7日（木）

総務民政常任委員会、山形委員長

5日本会議で付託の決まった議案を審議。

議案第36号 富田林市との一般旅券事務の規約変更。

30年9月30日より大阪府証紙廃止により、手数料が現金に代わる。

議案第37号 村税条例の改正

3月31日に地方税法の一部改正に伴い村税条例の一部を改正する。

障がい者、未成年者、寡婦、寡夫の所得要件引上げ。たばこ税税率の引き上げ 他。

議案第38号 災害被害者への村税減免への条例改正。

農業災害補償法から農業保険法への変更に対応。

議案第39号 ひとり親家庭への医療費助成の条例改正。

国の法改正により、控除対象配偶者を同一生計配偶者とする。

議案第40号 重度障がい者への医療費助成の条例改正。

39号と同じく、控除対象配偶者を同一生計配偶者とする。

議案第41号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準を定める条例。

就学前の子供に関する教育・保育の総合的な提供に関する法律改正に伴い村条例を改正する。

議案第43号 村介護保険条例改正。

国の介護保険法施行令改正に伴う改正。

議案第44号 介護予防の効果的な支援基準を定める条例。

指定居宅サービスの一部を改正する省令に則り条例改正を行う。

議案第45号 指定地域密着型サービス、指定地域密着型介護予防サービスの効果的な支援に関する基準を定める条例

国の基準に合わせる条例変更。

村長の日記

議案第46号 消防団等の公務災害補償条例改正。

消防団員の損害補償基準施例一部改正に伴う条例

議案第48号 平成30年度一般会計補正予算(総務民政常任委員会分)

歳入歳出それぞれ6260万円を追加、予算総額を35億9260万円とする補正予算の主なもの

- ・人件費、1360万円、諸手当1170万円、共済費360万円、以上4月移動等に伴う増額
- ・災害対策地区補助金3000万円、
- ・庁内に簡易郵便局開設費150万円
- ・道路維持費150万円 他

議案第49号 国民健康保険特別会計(診療施設勘定)補正。

診療所送迎車購入に伴う200万円。反対あり1名。

以上で総務民政常任委員会閉会、21日定例会にて可決するものとなった。

6月11日(月)

10:00

文教建設常任委員会 関口委員長で開会。

議案第42号 放課後児童健全育成事業の設備、および運営に関する基準を定める条例の改正。

村条例を国基準に改正する。

議案第47号 大阪府水道企業団の共同処理に関する事務の変更およびこれに伴う大阪府水道企業団の規約改正。

水道企業団に新しく7市町が加盟するに従い規約改正をする。(大阪市を除く府下全市町村の同意が必要。)

議案第48号 平成30年度一般会計(文教建設分)

以上3件を審議し、議会最終日に本会議で議決するべきものとなった。

村長の日記

6月14日（木）

全員協議会

* 金剛バス路線延伸

森屋行の金剛バスを村立中学校まで延伸。

森屋行バスの一部をくすのきホールまで延伸。

バス停名は次のように変わる。くすのきホール→楠公誕生地、奉獻塔下→奉獻塔、千早小学校バス停→東阪中。

* タクシー利用券助成事業

対象者：75歳以上、身体障害者手帳所持者、妊産婦、運転免許返納者。

助成額：500円券2枚(1か月)、1乗車3枚まで。

利用方法：発着地どちらかが村内。

対象タクシー会社：金剛タクシー、近鉄タクシー、第一タクシー。

* 金剛山の里を守り育てる千早赤阪村環境条例

パブリックコメント意見募集、7月2日～7月31日まで。

住民説明会7月16日（月）午後3時より。

* 平成30年度、千早赤阪村災害復旧室新設。

農林施設の復旧加速化に向け新設。効果的に、機動的に進めるため。

* 災害からの脱却

倒木・竹のリサイクル

- ・ 樹木粉碎機購入で倒木・竹を粉碎、住民に燃料、肥料として還元。
- ・ 長谷林道廃石の利活用、「不落の千早城大楠公石」をインターネットで販売。
- ・ 千早城石垣再生プロジェクト。他

* 認定こども園候補地選定結果

野外活動センター跡地。小吹台生き生きサロン横、プール敷地。村立幼稚園と赤小プール。

村長の日記

検討の結果赤小プールに決定。

13:00

庁舎建設特別委員会

埋蔵文化財試掘の結果建設予定地の再調査が必要となり、年内にプレハブおよび別館を除去、村の職場移転を行う。

6月21日(金)

6月議会最終日

19:00

総務民政常任委員会・文教建設常任委員会で審議した議案をすべて本会議で議決、追加議案として

議案第50号 一般会計補正予算

歳入・歳出、それぞれ6650万円を追加、予算総額36億5910万円とする。

児童福祉施設費(認定こども園建設準備費)6640万円。

議案第51号 動産の取得

学校園の先生用コンピューターの取得。

議案第52号 近畿大学附属病院、統合再編計画の計画変更を撤回し300床規模の病院設置を求める意見書(議員提案)

以上で議案審議が終了、一般質問となる

一般質問

* 千福議員

・ 道の駅の現状と今後の展望について

今年4月より暫定オープンしている道の駅「ちはやあかさか」は、委託先の鋭意、頑張りにより盛況であると思います。

本格的なオープンまでの暫定とはいえ、商品の品揃えに向けての出荷者の募集、商品の陳列の工夫、飲食のメニュー等と従前とは違った形での運営と感じられます。村民の方々も注視されており関心は少なくないと思います。

そこで、2か月余り経過しての現在の営業状況と、今後の展望についてお伺いします。

村長の日記

* 井上議員

- ・ 地域公共交通対策の現状は

本年度予定されている事業の進捗状況と、過去2回行われた実験結果は、今回の事業にどのように反映されようとしているのか等を問う。

- ① 実証実験の成果はどのように反映されるのか？
- ② 先進事例の活用は？
- ③ 今後の展望は？
- ④ 近隣市町との連携は？

バス・タクシー・その他運輸関係との協議はされているのか。

- ・ 村における木材利用の現状は

地域環境問題への関心の高まりなどから、森林資源の活用や維持管理の問題がある。「木材利用基本方針」があるが、現状どのように活用されているのか、今後活用する予定はあるのか。近年の利用実績など、金額も含めて教えてほしい。

* 藤浦議員

- ・ 財産管理について

最近、土地の境界等をめぐって裁判になっているケースが目立ちます。そこで、村の財産の中でも、いわゆる土地の管理についてお伺いします。

知り合いから、村の土地を個人が勝手に不法占拠しているのではないかというようなことを、よく聞きます。

新聞でも不法占拠の記事を見ることがありますが、そこでまず、村の土地の管理は、適正にされているのでしょうか。

この点について、お伺いします。

* 関口議員

- ・ ビジターセンターの計画について

日帰りで身近に登れる山として、金剛山は大阪府民のみならず、奈良・兵庫など近隣府県からの登山者から親しまれている。

ここ数年は登山口からの登山者が増え、駐車場がこれまでになく満車に近い状況も出ている。最近のロープウェイの利用客・登山

村長の日記

口からの登山者数の推移を伺う。

ビジターセンターの計画では、情報発信・地域振興・憩いの場・防災拠点機能を持つ施設として期待していた。

登山客をもてなし、千早地区の活性にもつなげるビジターセンターの設置を。

- ・ 村の公衆トイレについて

本村は大阪唯一の村として、金剛山・楠公史跡・下赤阪棚田を観光資源とし、「自然と歴史の文化に抱かれた村」として村外に発信している。村を訪れる人は、村の自然や歴史を探索に来ている。観光客をもてなす為に公衆トイレは欠かせない。

道の駅トイレは整備され気持ちよく利用されている。楠公史跡周辺は道の駅トイレといきいきサロン前に設置され不自由はない。登山者へのトイレも登山口バス停と、しいたけセンターの手前にもある。

一方棚田周辺はと言えば、公衆トイレはなく、棚田を散策した人にとっては不自由だ。

中学校の安全対策のため、扉を設置する事で消防分署横に駐車場と休憩所が整備されたが、トイレはない。

駐車場にトイレの設置を求める。

- * 田村議員

- ・ 棚田夢灯り&収穫祭 10年の総括を

村内住民はもちろん、村外からの観光客をも楽しませてきた【棚田夢灯り&収穫祭】も今年で節目の10年を迎えることとなった。昨年は台風21・22号により棚田周辺が大きく被害を受けたことから残念ながら中止となってしまったが、本年は予算にも計上されており実施の見込みと聞いている。本年度からは運営体制が大きく変わることだが、新たな一步を踏み出す前に、まずはこの10年間の総括が先決ではないか。

行政として夢灯り&収穫祭をどのように捉えているのか4点について率直に伺いたい。

- ① 行政としての目的はどこにあったのか。
- ② 開催するメリットをどのように評価しているのか。
- ③ 開催する中でどのような課題が生じたか。
- ④ 開催にあたり要した費用は。

- ・ 村独自の農地バンクの創設を

村長の日記

平成 26 年に農地中間管理機構いわゆる【農地バンク】が各都道府県に設置された。農地バンクが取り扱う農地面積は年々増加しているものの、政府目標を達成する見通しが立ったとは言い難い状況にある。とりわけ大阪府では平成 29 年度時点で担い手への農地集積率は 10.6%(全国平均 55.2%)であり、全国でも最下位となっているのが現状だ。特に農地バンクは農地集積化・経営規模拡大・新規参入促進などの観点から設置されたものであり、小規模な農地が多い本村の在り方とはそぐわない一面ももつ。

そこで提案したいのが本村独自の農地バンク制度だ。

農地中間管理機構において想定されている対象は大規模な農業従事者であるが、それゆえ家庭菜園のように小規模農地を利用したい方にとっては、利用しにくいものとなっている。本村への新規移住者には家族が食べる野菜を自分で育てたいという希望を持っておられる方も多いが、新規移住者が農地を自力で探すことはなかなか難しい。また今後高齢化に伴い耕作放棄地の増加が予想されるが、貸し手と借り手をマッチングさせることができれば耕作放棄地の減少にも寄与するはずだ。

本村で現在運営している空き家バンク制度のように、農地の貸し手と借り手を村が仲介することができれば、村の農業にとってプラスとなると共に、人口増加策としても機能するのではないか。

以上の点について行政としての考えを伺いたい。

* 山形議員

- ・ これからの村・観光事業として

2020 年スポーツの祭典、オリンピック・パラリンピックが東京で、又ラグビーワールドカップも 2019 年に東大阪市の花園ラグビー場で開催される。

村長は、以前より金剛登山による長寿健康を村の観光・振興事業と提唱し、長年各方面で村のイメージアップを図ってこられた。そこで村民の健康増進、スポーツ振興又、観光振興の目玉として大阪府下をはじめ全国各地から来村者を増やす事業として、2 点について提案する。

- ① 千早赤阪村の自然環境を生かして、マウンテンバイク（自転車）用クロスカンントリーレースコースを作り、レースを誘致・主催する村営本格的練習用コースとして使用し収益を上げる。
- ② 近年競技人口が増えつつあるスポーツクライミング三種目（東京オリンピック新競技）の競技場、練習場を作る。（スポンサー誘致）この種目は、屋内の人工的に作られた壁に取り付けたグリップと呼ばれるカラフルな大小の出っ張りをロッククライ

村長の日記

ミングのように必要最小限の装備で登る競技です。今の所、本格的な練習場がないために、トップアスリートがよその都道府県まで通っている状況です。

一般質問の答弁は議会広報をご覧ください。

6月議会最終の挨拶

本格的な梅雨に入りましたが、例年になく涼しい6月です。議員諸氏協力のもと6月議会は今終了いたしました。

先日の大阪北部を中心とする地震で被災された皆さんにはお見舞いを申し上げるとともに、村への影響がなかった事は幸運だったと思います。

皆さんに議決いただいたこども園は父兄の要望であり、1日も早く完成させ、安心して子どもを預けられるようにしていきます。

庁舎建設につきましても、コンパクトで住民の皆さんが利用しやすい庁舎を目指して現在進行中です。庁舎建設、子供園建設で判明いたしました村有地の境界確定不備解消に努力します。

村が新しい事業を計画いたしますと、必ず土地問題でつまづきます。私たちは解決に努力いたしますが、議員皆様のご協力を得ながら土地も含めスムーズ事業進行を行えるようお願いし、議会終了の挨拶といたします。

6月9日（土）

10:00

特定非営利活動法人 こそせ会 山ゆり作業所 平成30年度通常総会

本日は11時に所用あり、挨拶のみ出席した。

山ゆり作業所は開設以来、東阪から小吹台へと場所が変わり、H21年には特定非営利活動法人を設立、平成25年には障害者福祉サービス事業所に事業移行となり、国の方針変更の度に事業内容変更が伴う中で事業継続され、苦労が絶えない事は理解できる。

国の財政問題もあり、老人福祉、身体障害者福祉、介護、各部門の予算を抑える必要が高まっている。これからも国の制度が予告なしに変更される事があると思う。

村長の日記

これからの運営が大変だろうが皆さんの力で山ゆり作業所の運営を続けてほしい。

6月11日（日）

8:00

第66回全国ろうあ者大会 in 大阪

大阪城ホールへ出発、今日は大阪城一帯でトライアスロンが行われ、ホールの周囲は超混雑するので早くスタートした。本日は日曜で途中の混雑はなく、9時少し前に現場到着。

来賓控室に入ったが、いつもと状況が違う。皆さんが手話で話をしている、名刺交換時には通訳がつく。さすが全日本ろうあ連盟の皆さん、手話できっちり挨拶をしてくれる。やはり全国の役員、都道府県の役員さんは手話で健常者より丁寧にあいさつを頂いた。

大会の挨拶で、手話によりろうあ者は子ども時代よりコミュニケーションを取りながら成長していく。全国の市町村で私達ろうあ者と手を携えて手話言語の普及に向けて歩み始めてくれました。

「手話も日本の公用言語としてほしい」

12:00

田中誠太 八尾市長のパーティ

前大阪府市長会会長。リーガロイヤルホテル光琳の間、非常に大きな会場、車で近くまで行ったがなかなかホテルへ入れない。ホテルの手前500m 御堂筋から車が停滞している。20分以上走ったり止まったり、ホテルの手前でガードマンに聞いた所「今日は大物政治家のパーティ車が多すぎる」途中で車を降りて会場へ。会場も満員、これだけ人が集まるのは大物政治家、大市長と納得した。

来年の統一選挙は間違いなし。

6月12日（月）

10:00

大阪いずみ市民生活協同組合 定期総会（アゴーラリージェンシー堺）

途中の混雑により会場到着が遅れて迷惑をかけたが、気持ち良く来賓として扱っていただいた。

来賓挨拶

村長の日記

私が村長をしている千早赤阪村は大阪で唯一の村であり、唯一のコンビニの無い村、しかも東西13キロ 南北10キロ、13の地域に分かれている。

府下の市町では家が連担しているところが多いが、村では大きい地域で400戸、小さい地域では40戸、及び800戸の団地があり、全部で13地域です。

村は住民の要請(特に若い人たち)もあり、何度かはコンビニチェーンへ出店の要請を行いました。人家が分散している、高齢化が進んでいるなどの理由で経営が成り立たないと断られた。

各在所にあった何でも屋が、売り上げ不振と経営者の高齢化で現在食料品を売る店が5軒、食事の出来る店5軒、車を足にしないと生活が出来ない村です。

村は買い物難民対策として、平成26年からイズミ市民生活協同組合さんの移動販売車を運用してもらっている。おかげで運転の出来ない高齢者には貴重な存在です。村の非常に小さい道の駅にも定期的に移動販売を行っていただき、村民が便利さを実感している。

災害時の物品供給協定を締結頂き、どんな時でも安定した物品供給を保障していただいた。また、宅配の途上高齢者、障害者の見守りもやっていたり、職員の少ない村にとって心強い支援ですとお礼を申し上げた。

午後

一般質問答弁調整。議長以外六人の議員から出された一般質問を各課長と共に考えた。

6月18日(月)

竹藪切新人研修

例年新人研修は金剛登山を行ってきたが、2年前にヘルニアと診断されてから金剛登山は行ってこなかった。今年はその代わりとして、診療所裏山の藪切をすることにした。地主に聞いた所ぜひやってほしいとの要請を受けたので、新人(女性2人を含む)で藪切を始めた。長年手入れが行われていない藪、竹が殆んどだが処所に木も生えている。竹はほぼ半分が枯れている状態、しかも、まさに藪状態なので竹が長く伸びている。1本の竹を切り、約1.5mほどに小切ると5本ほどになる。根切りをして5本ほどに小切りをして、枝を外して車に乗せやすい所に集めて、手間暇がかかる。午前1時間ほどでかなり切れた。後を見るとやはり藪切をしたところの方がかっこいい。午後も続けてやるが、午前と違ってかなり暑い。気持ちの良い汗をかくと言うが、私にとってはしんどい汗だ。約3時間藪切を続けたが、かなり藪が

村長の日記

少なくなって風通しが良くなったとともに、保健センターのかがりが良くなった。

終わり近くなって保健センターの駐車場へ廻ってみると、川岸サイドの竹、雑木が大きくなって川は言うに及ばず、向こう岸が見えない。冬季は少し見晴らしが良いと思ったが、夏にはやはり葉が茂って緑しか見えない。葉の無い時期にもっと切り込み、見晴らしを良くすることが大事。

6月22日（金）

WORLD MASTERS GAMES 2021 KANSAI

2021年、関西一円でされる ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 組織委員会 平成30年度定時評議委員会

ワールドマスターズゲームズは意外と村に縁がある。今回のゲーム会場にはなっていないが、水分の住民が水泳の平泳ぎで金メダルをオーストラリアで取ってきた。今回は関西一円でされる。大阪府下で行われる競技はBMXの岸和田市、ラグビーの東大阪市、水泳・オープンウォーターの泉南、オープン競技としては高石市が予定されている。

開会式は2021年5月14日、京都市の平安神宮を中心とした岡崎エリア。閉会式は5月30日、大阪城ホールが決定した。

現在何かと元気がない関西、ぜひワールドマスターズゲームズで少しでも元気を出して、近畿だけでなく関西、大阪そのうちでも格段に元気がない南河内が少しでも元気を出すように。

6月25日（月）

22:00

午後10時過ぎに電話「弟の容体急変」

2月の初めから3番目の弟が原因不明の病魔。免疫細胞が自分の血液を攻撃する、今全国でも200例あるかないかの難病。3月頃から毎日検査、検査、検査の連続、輸血の連続。ステロイド療法他、ありとあらゆる治療を試みていただいた。

生きる望みにすべてを掛け、あらゆる検査、治療に耐え抜いた弟、嫁、家族へ、兄として「ご苦労さま」「ありがとう」

村長の日記

6月27日（水）

弟の葬儀

私は男ばかりの5人兄弟、何か事があると5人揃うことが普通だった。一人掛けるとやはりさびしい。葬儀は岸和田で行われた。多くの人達に参列いただいた、ありがとうございました。